

| | | | | | | | |
|------|---|------|----|---|----------|------|------|
| 科目名 | 公民 I Civics I | | | 担当教員 | 田口 淳 | | |
| 学年 | 2年 | 学期 | 通年 | 履修条件 | 必修 | 単位数 | 2 |
| 分野 | 一般 | 授業形式 | 講義 | 科目番号 | 12120014 | 単位区分 | 履修単位 |
| 学習目標 | 心理学を通して人間に対する理解を深めるとともに、先哲の思想を学ぶ中で、社会人としての人生観・世界観・価値観の形成を目標とする。 | | | | | | |
| 進め方 | 講義形式を基本とする。要点は板書もしくはプリントを配布しながら進めていく。 適宜、簡単な心理テストの実施、また討論や視聴覚教材を通して、各自の思索が深まるようにする。 | | | | | | |
| 学習内容 | 学習項目（時間数） | | | 学習到達目標 | | | |
| | 0. 「倫理」とは？(2) 1. 青年期の課題と自己形成 (1) 青年期の意義(6) (2) 青年期の課題と生き方(6) ----- [前期中間試験](2) | | | 倫理社会で何を学ぶのが理解できる。 青年期の特徴を理解するとともに、青年期に生きる自分自身の課題を明確にすることができる。 学習・教育目標：(A) | | | |
| | *試験返却・解説(1) 2. 人間としての自覚 (1) 哲学と人間 ・哲学すること(1) ・哲学の動機(2) ・ギリシャの思想(10) 自然哲学者、ソフィスト、ソクラテス、 プラトン、アリストテレス、エピクロス ゼノン | | | 哲学することの意義が理解できる。 哲学の定義及び動機について理解できる。 理性を重視した古代ギリシャの哲学思想・倫理思想の基本的な内容が理解できる。 学習・教育目標：(A) | | | |
| | 前期末試験 | | | | | | |
| | *試験返却・解説(1) ・中国の思想(5) 諸子百家、孔子、孟子、荀子、老子 荘子、朱子、王陽明 (2) 宗教と人間 ・宗教とは？(1) ・ユダヤ教(2) ・キリスト教(5) ----- [後期中間試験](2) | | | 中国古代の思想の流れと基本的な倫理観が理解できる。 宗教の本来のあり方や必要性が理解できる。 ユダヤ教・キリスト教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A) | | | |
| | *試験返却・解説(1) ・イスラーム(3) ・バラモン教(2) ・仏教(8) | | | イスラーム、バラモン教、仏教の基本的な教義及び倫理観が理解できる。 学習・教育目標：(A) | | | |
| | 後期末試験 試験返却・解説(1) | | | | | | |
| 評価方法 | 評価の内訳は、レポートの提出状況 10%、定期試験 90%とする。 四半期ごとの全体評価への重みは、すべて各 25%ずつとする。 | | | | | | |
| 履修要件 | 特になし | | | | | | |
| 関連科目 | 歴史Ⅰ（1年）→ 歴史Ⅱ（2年）→ 公民Ⅰ（2年）→ 人文科学Ⅱ（4年） | | | | | | |
| 教材 | 教科書：平木幸二郎 他著『倫理』 東京書籍 | | | | | | |
| 備考 | ○オフィスアワー 原則として毎週月曜日の放課後 ○担当教員への連絡先 TEL：087-869-3842, E-mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp | | | | | | |